

あわい色で海の中を楽しく表現しています。お魚の船の中もていねいに描かれています。

『カラフル魚の乗り物』

札幌市 前田小学校3年生 谷守 結さん



1年間大切に育ててきた稲を刈る時のワクワクした気持ちが伝わる作品です。顔の表情や稲などに表現の豊かさを感じます。

『稲刈り』

留萌市 三泊小学校5年生 角 勇輝さん



初めて牧場でみたうしがとても大きかった様子を画面いっぱいにとっても詳しく表現されています。水彩とクレヨンをうまく使い分けた作品です。

『牛』

厚真町 厚真中央小学校2年生 大浦 颯太さん



豊かに実った稲の稲刈りが終わり喜びに満ちた表情などがとてもよく表現された見事な作品で色もとてもきれいです。

『今年も豊作。稲刈りだ』

留萌市 幌糠小学校4年生 竹内 悠稀さん



教室の窓から見える風景をさりげなく、しかししっかりと観察し、奥行きのある気持ちのよい絵になっています。手前に花を配し教室の雰囲気がとてもよく伝わってきます。

『晴れた空と花』

札幌市 厚別北小学校6年生 及川 璃樹さん



スナップ写真のワンカットを絵にしたものと思われませんが、知床の凜とした大自然の息吹が伝わってきます。

『カムイワッカの滝』

釧路町 富原中学校2年生 田中 玲那さん

第37回教育美術展奨励賞作品より

<http://hokuzou.kir.jp/> で他100点の作品もご覧いただけます

検索

▶北海道造形教育連盟|◀

<目次>

・第37回教育美術展奨励賞作品	1 (表紙)
・北海道造形教育連盟会長挨拶	2
・今年度の研究について	3
・全国図画工作・美術教育研究大会 in 北海道	4~5
・ネットワーク部会の取り組みから	6
・活動報告(日高造形教育研究会・石狩造形教育連盟)...	7
・第38回教育美術展応募要項について	8



北海道
造形教育
連盟報

No.132 2011.7.1発行
発行 北海道造形教育連盟
会長 菅原清貴 (札幌市立幌西小学校長)
事務局長 稲實 順 (札幌市立旭小学校長)
事務局 札幌市立旭小学校
〒062-0912
札幌市豊平区水車町3丁目1-22
TEL(011)811-4148 FAX(011)811-1382



「わたし」を創る」大会で私をつくりましょう！

北海道造形教育連盟
会長 菅原 清貴
(札幌市立幌西小学校長)

いよいよ共同開催の全国大会です。

北海道造形教育連盟は、昭和26年11月24日に北海道図画工作連盟として設立されました。昨年は60周年の記念年として記念誌発行やプレ全国大会及び式典を開催し、多くの方々に祝福いただきました。深く感謝申し上げます。

その大切な節目に函館において全道大会が開催されました。この地を会場とする造形研究大会は8回を数えます。函館・渡島・檜山の道南地域の先生にもご協力いただき子どもに寄り添う実践発表の場として、大変価値ある大会でした。この成果を土台として、全国造形教育連盟と日本教育美術連盟が共同で開催する「全国図画工作・美術教育全国大会 in 北海道」を成功させましょう。

教室に満ちる“あったかな”空気を求めて

この大会は、造形教育を大切に思う多くの方が集う大切な場であります。ご承知のように学習指導要領の改訂の度「造形教育の危機」が語られてきました。現実に義務教育の中から標準授業時数が減らされ、その足場は狭くなってきたのは確かです。多くの子ども達が楽しみにしている学習であるにもかかわらず何故なのか。その要因は「学力低下論議」や「社会的不要論」など外的要因も多少あるかもしれませんが、私は主たる要因はこの学習をすすめる教師の側にあるように思うのです。つまり、かなりの数の教師が造形教育の指導に迷いをもち、この学習に見通しを立てることができずにいるのではないかと考えています。

そこで、今回の大会では、その「迷い」を少しでも取り去り、教師が自信をもって授業に臨めるようになるにはどうしたらよいのかを全国の皆さんと語り合う大会にしようと考えています。

今大会主題は、「わたし」を創る」です。このテーマは、北海道の先生方がパソコンのネットワークを使いながらまとめ上げたものです。これは造形教育の魂にも通じる見事な主題だと思っています。子ども達が一枚の画用紙に向かう時、奮い立つような題材が提案され、「さあここに私をつくるわ！」と思える授業ができれば最高ではないでしょうか。子どもと教師、子どもと子ども、子どもと対象がやさしい輪となり繋がり合い、教室中がほんのりと“あったか”な空気に包まれることを期待しています。

大会の成功で大震災からの復興を下支えしよう

この初春に東日本を中心に未曾有の大災害が発生しました。膨大な数の尊い命と生活の場が一瞬のうちに奪われました。なかでも、昨年全国造形教育研究大会開催の地であった福島の皆様が、震災ばかりか原発事故の驚異にもさらされている事に心痛むばかりです。乗り越えられない艱難はありません。このような時だからこそ、次世代を担う子どもたちに夢と希望を与えなくてはなりません。

全道のHPに「図画工作や美術などの造形活動は、一人一人に夢や希望を与え、元気になる力があります。創造力を高め、新しい日本を創る力があります。全国の学校や美術館などが力を合わせ子どもたちの創造力や表現力、夢や希望を育てながら、元気な日本の復興に立ち上がりましょう。」とありました。

私達は、造形教育の振興を通し、この国難を乗り越えるための下支えとしなくてはなりません。今回の共同で取組む全国大会を、造形教育を大切に思う方々の決起する大会としましょう。夏の北海道で、「造形教師」としての私をつくり、教師として、さらなる自信を培う場としましょう！

北海道造形教育連盟役員（部長会構成スタッフ）

- | | |
|---------------------------------|-----------------------------|
| ○会長 菅原 清貴 (札幌市立幌西小学校長) | ○監査 辻 敦郎 (帯広市立第五中学校長) |
| ○副会長 富田 賢司 (札幌市立札幌北中学校長) | ○監査 篠原 寛 (札幌市立西小学校長) |
| ○副会長 島田 茂 (江別市立文教台小学校長) | ○会計 三井 哲 (札幌市立平岡中央小学校長) |
| ○副会長 渡辺 盛二 (旭川市立近文第一小学校長) | ○金庫部総務課 田口 和男 (札幌市立厚別西小学校長) |
| ○副会長 中村 吉秀 (函館市立桐花中学校長) | ○金庫部総務課 土井 善範 (札幌市立光陽小学校長) |
| ○副会長 奥田 泰朗 (弟子屈町立昭栄小学校長) | ○庶務部長 箭内 浩之 (札幌市立真駒内曙小学校) |
| ○事務局長 稲實 順 (札幌市立旭小学校長) | ○広報部長 松本 和彦 (札幌市立発寒小学校) |
| ○事務局次長(研究) 中居 正光 (札幌市立菊水小学校) | ○事業活動部長 八田 博之 (札幌市立中央小学校) |
| ○事務局次長(研究) 川島 正夫 (札幌市立手稲北小学校) | ○事業研修部長 石川 早苗 (札幌市立八軒東中学校) |
| ○事務局次長(研究) 金子 睦 (札幌市立中央中学校) | ○研究部長 湯浅 大吾 (札幌市立伏見小学校) |
| ○事務局次長(事業) 東 尚典 (札幌市立平岡中央小学校) | ○総務部総務課 小林 知広 (札幌市立幌西小学校) |
| ○事務局次長(事業) 福島由紀子 (札幌市立円山小学校) | |
| ○事務局次長(事業) 向井 正樹 (札幌市立あいの里東中学校) | |



主研究

“わたしを創る”～自立と共生の造形教育をめざして～

北海道造形教育連盟

研究部長 湯浅大吾
(札幌市立伏見小学校)

TEAM北海道でALL北海道を全国へ発信

未曾有の災害をもたらした東日本大震災は、来る7月26日・27日・28日に開催される、全国造形教育連盟と日本教育美術連盟との共同開催による「全国図画工作・美術教育研究大会in北海道」にも少なからず影響を与えました。昨年、全国造形教育研究大会が行われた福島県の先生方には大変よくしていただき、北海道での再会を約束していました。しかし、提言と助言をお願いしていた3名の福島県の先生方から、大変残念なことに参加できないとの連絡が舞い込んできたのです。幸いにも3名ともお元気ということでしたが、大会まで3ヶ月を切った中でどのように調整していこうかと考えたとき、やはり頼りになるのはTEAM北海道の仲間でした。急な依頼にもかかわらず快く助言を引き受けてくださいました。ありがとうございました。決して順風満帆で進んできたわけではない大会づくり。これまで培ってきたTEAM北海道の人間関係無くして、ここまでたどり着くことはできなかったでしょう。

そうして、いよいよ札幌市立幌西小学校と同、円山小学校を会場に、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学による20の授業公開と全国から40の提言が発表されます。北海道からも13の提言の発表が予定されています。函館、石狩、空知、上川・旭川、十勝、釧路、根室とまさにオール北海道の仲間が、全国へ向けて北海道の造形教育を発信します。

全国大会を糧に

大会テーマである“わたしを創る”はTEAM北海道の人と人のつながりを基盤に、苦勞しながらも、それぞれの実践を持ち寄り、検証しながら大切につくり上げてきたTEAM北海道の研究の結晶です。

私たちがめざしている～自立と共生の造形教育～の考え方が、全国の造形教育に関心をもつ多くの方々との交流の中で、よりよい方向にさらに向かって歩んでいけるよう願ってやみません。

どうぞ3日間のご討議とご参加をよろしくお願い致します。



授業実践

「あったかい！」

をつなげ合う造形活動

札幌市造形教育連盟

研究部長 森實祐里
(札幌市立星置東小学校)

3つの扉から見える造形教育の景色

札幌市造形教育連盟は「あったかい！」をつなげ合う造形活動をめざして過去5年間の授業実践を積み上げてきています。そして、本連盟の魅力は、幼稚園・保育園、小学校、中学校、高等学校、大学、校種をこえて研究討議をこれまで行って来たことです。そのために、どの校種やどの領域の授業・保育であっても共有化できるように3つの方向から授業・保育を考えていけるように設定したのが「扉」です。授業づくりでは、子どもの心が「やってみよう！」「すごいな！」と動くような題材との出会わせ方や一人一人の子どもが友だちや教師と一つの空間で感動を共有することを大切にしています。

●「こどものまなざしの扉」●

この扉では、子どもの感性を引き出せる教材化・題材構成になっているかを子どもの視点から問い直す扉です。幼稚園から中学校まで7つの授業・保育

公開が予定されています。

●「みらいへのまなざしの扉」●

この扉では、未来へつながる子どもの生きる力を、「社会とのつながり」や「授業の広がり」の可能性を通して育む造形教育を問い直していきます。日本広告写真家協会「授業にカメラを」との連携授業や北海道教育大学と武蔵野美術大学「旅するムサビプロジェクト」との連携授業など、小学校から大学まで6つの授業公開が予定されています。

●「教師のまなざしの扉」●

この扉では、子どもたちの資質や能力をとらえ、育む力を明確にした教師のかかわりを問い直します。幼稚園と小学校との連携授業など、幼稚園から高等学校まで7つの授業公開が予定されています。

ぜひ、たくさんの方に足を運んでいただき「あったかい！」授業を見ていただき、忌憚のない意見をいただけると幸いです。

第64回 全国造形教育研究大会
第62回 造形表現・図画工作・美術教育研究全国大会
第61回 全道造形教育研究大会札幌大会

テーマ

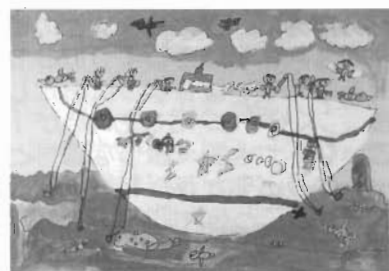
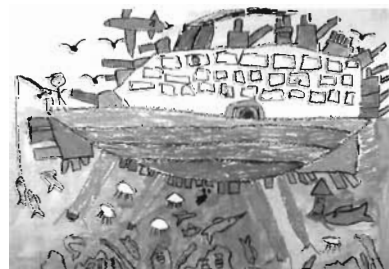
「“わたし”を創る～自立と共生の造形教育をめざして～」

研究主題 「あったかい！」をつなげ合う造形活動

<http://satsuzou.kir.jp/> 「最新情報更新中です。」

全 国図画工作・美術教育研究大会
in 北海道スケジュール

第1日目 7/26(火)	第2日目 7/27(水)	第3日目 7/28(木)
9:30 受付	8:30 受付	9:00 受付
10:00 開会 全国大学造形美術教育 教員養成協議会 2F ライフポート I	9:00 I 開会式 大会長挨拶 II 授業解説	9:30 I 全体会 1 授業プレゼン 2 全員シンポジウム 3 講評 4 大会宣言
来賓控室 2F コンプリオ	9:25 授業公開 ① 9:30～ ② 9:45～ ③ 10:00～	11:20 II 閉会式 1 大会長挨拶 2 大会実行委員長 (来賓紹介) 3 次期開催地代表 4 閉会の言葉
全道連実行委員控室 3F あおぎ	10:50 授業分科会	11:50 昼食
12:00 昼食	12:30 昼食	オプションツアー (北の造形視察研修) ・芸術の森コース ・モエシ沼コース
13:00 午後受付	13:30 午後受付	17:00
13:30 校種別部会 幼・保 2F ライフポート II	13:45 提言分科会	
小 4F アニマート I	15:30 移動	
中 4F アニマート II	15:45 展分科会	
高 4F グラーベ	16:45 移動	
全道連大学部会総会 3F はなの	17:30 レセプション受付	
15:00 全国代議員会 2F ライフポート II	18:00 レセプション 2F ライフポート II・II	
日美連全国理事会 2F ライフポート III	20:00	
全道連美術館部会: 4F 1カゴト		
大学研究発表会: 3F いずみ		
16:30 共同開催会議 2F ライフポート III		
17:30 共同開催懇親会: 17F サラ		



～全国図画工作・美術教育全国大会 in 北海道開催記念展覧会～
「子どもアート展2011 幼稚園から高校まで」
 子どもたちの「あったかい！」作品を展示しています。(観覧:無料)
道新ギャラリー会場 札幌市中央区北条西3丁目道新ビル 北一条館1階道新プラザ内
 幼稚園児～高校生までの作品と図工・図画を通して子どもを育てている姿勢の活動を展示しています。
 会期 7月28日～8月2日まで 10:00～19:00まで (最終日のみ17:00まで)
札幌市役所1階ロビー会場 札幌市中央区北1条西2丁目
 札幌市教育研究推進事業、11学校図画工作部中央区子ども造形展共催
 札幌市中央区の学校に通う小学生の作品を展示しています。
 会期 7月26日～7月29日まで 9:00～17:00まで
市民ホール会場 札幌市中央区北条西1丁目
 (全国図画工作・美術教育全国大会 in 北海道開催記念展覧会)
 北海道内の大学・専門学校・学生による札幌市立市民ホールでの展示。札幌市立市民ホールでの展示は北海道各地での教育活動を紹介しています。
 会期 7月28日のみ 9:00～11:00まで

幌西小学校会場

扉	授業者	学年	題材名	領域	助言者	提言者	時間・開始時刻
1	伏見小 中川 治	小1	どんどん広がる みんなの色	A表現 (1)	関 建治 築野元康一	名古屋 大窪小 若林 若子	45分 9:45~
2	緑丘小 濱口 裕子	小4	くるくるカラフル	A表現 (2)	京都市教育委員会 札幌学院大 中下 美華 藤井 正治	沖縄 瀬平小 宮里 雅代 愛媛 高浜小 木村 早苗	45分 9:30~
3	伏見小 柿本美奈子	小4	ぼく・わたしの心もよう	A表現 (2)	東京 花瀬小 山口 多喜小 横内 克之 弘中 順一	岩見沢 岩見沢小 竹田 睦生 東京 高橋小 上野千絵子 内田佳代子	45分 9:45~
4	幌西小 土門 俊介	小3	空のあそび	A表現 (1)	北海道教育委員会 熊本 橋中 阿部 宏行 渡辺 浩之	佐賀 大付小 福永 千鶴 北越 大野小 岩崎愛多 江崎 中井上吉義	60分 9:30~
5	中の島小 祖父江 瞬	小6	きこう はなそう かんじよう	B鑑賞 (1)	兵庫県立教育センター 北海道教育大学札幌校 貝森 忠人 富田 泰	熊本 健幸小 星子 聖一 広島 川内小 川島 仁氏	45分 10:00~
6	あいの里東中 寺林 陽子	中2	Peace Message Card	A表現 (2)	沖縄 浦添中 大阪教育大 金城 安正 佐藤 賢司	福山 光岡中 吉野 法行 沖縄 東南平中 二宮 陸生	50分 9:45~
7	いなづみ幼 三浦真奈美	年長	にじいろのもりであそぼう	表現	北海道 大畑大福小 千歳大福大 埼玉 文芸女子大 坂本 行正 横 英子 平田 悠久	北海道 大畑大福小 札幌 英道小学校 星 恵 若杉 由恵	45分 9:45~
8	幌西小 吉伊 宏子	小2		A表現 (1)	北海道教育委員会 山梨 日野小 今 裕子 浅川 徹	大阪 今川小 狩谷 潤也 青森 上野小 土橋 直美	45分 9:45~
9	札幌北中 則友 冴子	中1	大切な相手へ~色のおもてなし~	A表現 (2)	府市教育委員会 札幌市教育委員会 田中 圭一 野切 卓	青森 板柳中 高安 弘大 奈良 教育大附属中 大塚 圭造	50分 9:30~
10	旭丘高 他 齋藤 周 他	高校	高校の美術のあり方と授業	表現・鑑賞	武蔵野美術大 愛知教育大 大坪 圭輔 藤江 充	大谷大短期大 東京 九段中 平向 功一 落合 良美	10:00~

題材名・授業分科会一覽

※東日本大震災にとまない、ご配慮、ご賛意いただく方の変更がある場合があります。
がんばろう日本！がんばろう造形教育！

扉	授業者	学年	題材名	領域	助言者	提言者	時間・開始時刻
11	札幌幼稚園 高橋 梓	年長	土の中たんけんたい	表現	天原成興大 藤女子大 秋田 一守 杉浦 篤子	札幌 乃のしま 大庭成徳大 西岡 由花子 塩見 知利	45分 9:30~
12	手稲西小 藤岡 真弓	小4	思いとび出して	A表現 (2)	福岡 加時小 広島 大町小 阿部 正明 栗栖 悠久	福徳 中の沢小 福岡 森谷小 赤坂 康孝 松浦 健	45分 9:45~
13	円山小 宮田 珠世	小3	カラフル ワンダー ホール	A表現 (1)	元全道教育委員会 京都市教育委員会 鈴木 弘之 平尾 隆史	根室 土崎小 東京 高島第五小 外川 篤司 大畑 祐之	45分 10:00~
14	西岡中 多田 絵美	中2	感じて語ろう	B鑑賞 (1)	北海道教育委員会 東京 南中野中 工藤 雅人 牧井 直文	大塚 夕陽中 伊谷 朋美 恵庭 柏原中 工藤 由香	50分 9:45~
15	米里中 細川亜矢子	中2	My Life+ ~土に思いをこめて~	A表現 (2)	大塚 東定中 札幌 志学館短期大 板本 宏 石谷 正美	東京 南中野中 京都 深草中 内田 善人 藤川 健嗣	50分 9:30~
16	手稲中 川内亜矢子	中1	心のレタリング	A表現 (2)	北海道立野幌研究所 山梨 須玉中 中島 健節 瀧野 晃	堺 深井中央中 伊藤 慶孝 新藤 遼央中 史科 裕希	50分 10:00~
17	武蔵野美術大学学生 北海道教育大学学生	小6	「旅するムサビの礼儀」~featuring北教大~	B鑑賞 (1)	武蔵野美術大 和歌山大 北海道教育大学旭川校 三澤 一実 永守 基樹 南部 正人	秋田 仁徳保高 大塚 三島高 黒木 健 八木 遼善	45分 9:45~
18	あやめ野小 橋本 祥子	小3	もく木 トントン わくわく	A表現 (2)	大塚 志高小 北海道教育大学旭川校 長谷川 辰夫 名達 英昭	山梨 高橋清里小 奈良女子大付属小 日井 恭子 大野木 広行	45分 9:45~
19	百合が原小 矢野 宜利	小3	ぐるぐるワールド	A表現 (2)	東京 五本木小 色崎 加成小 鈴木 陽子 宮崎 祐治	千歳 桜木小 東京 愛日小 渋谷 広美 平田 祥介	70分 9:30~
20	屯田北中 市川 雅基	中2	みてみて発見！日本の美~仏像編	B鑑賞 (1)	北海道教育大学旭川校 徳島 西條中 佐々木 幸久 保志美子	札幌 浦田中 北海道教育大学札幌校 伊庭 照実 花輪 大輔	50分 10:00~

円山小学校会場





「みえる化」パネルで情報交流

北海道造形教育連盟

ネットワーク部長 小林 知 広
(札幌市立幌西小学校)

—昨年の夏のネットワーク会議（旭川大会）の中で、「各地区サークルで行っている活動報告を、外に発信していくことで、全道の様子を多くの人に伝えていくことができるのではないか」と、いうことが話し合いの中から生まれました。今まで、ホームページ（以下HP）を使って活動の様子を伝えたり、メーリングリスト（以下ML）を使い各地区サークルの様子をやひとりひとりの考えを出し合い共有したりしてきました。広い北海道ということもあってWebを使って情報交流について、ある程度の成果があったと考えていましたが、さらに一歩進めて、各地区サークルの活動をネットワーク会議のように一度に見ることができたら……、いろいろと知恵をつなぎ合わせ、このパネル交流を行うことになりました。

昨年度は12地区サークルからパネルが集まり、函館大会の会場に展示しました。ご覧いただきましたか？展示された図書館では多くの方が足を止め、TEAM HOKKAIDOの仲間達の活動に見入っていました。



紙面を通しての情報ですが、ネットワーク部で提案している情報発信としてのパネルの役割が十分に果たされていたように思います。パネルの周りでは、このパネルから得た情報が交流されそれぞれの地区サークルの垣根を越えた人の輪になっていました。

今年は、1月に新たに誕生した日高造形教育研究会を加えて19の地区サークルから17のパネルが集まり、全道各地の情報をほぼお伝えすることができると考えております。全国大会の幌西会場、円山会場ともに体育館に展示しておりますので、ぜひご覧いただきたいと思います。

ネットワーク部は今まで、HPとMLを中心に「ひと」と「ひと」がつくりだすネットワークを中心に活動してきました。今回の「みえる化」パネルの作成、展示を通してアナログの重要性を再認識することができたように感じます。直接見ることのできない各地の活動を「みえる化」することで、情報発信機能をもったパネルになったのです。加えて、「みえる化」パネルの前に集った「人」と「人」とが情報を交流し大きなネットワークの輪になっていました。HPとMLによる情報交流をベースに、「みえる化」パネルを通して仲間が集い・語り合うネットワークとなっていくことと思います。TEAM HOKKAIDOのみなさんの大きな力に感謝し、なお一層のネットワークの輪を広げていきたいと思っています。



「みえる化」パネルの前で集うみなさん

日高造形教育研究会活動報告

浦河町立浦河第一中学校 北 芳樹

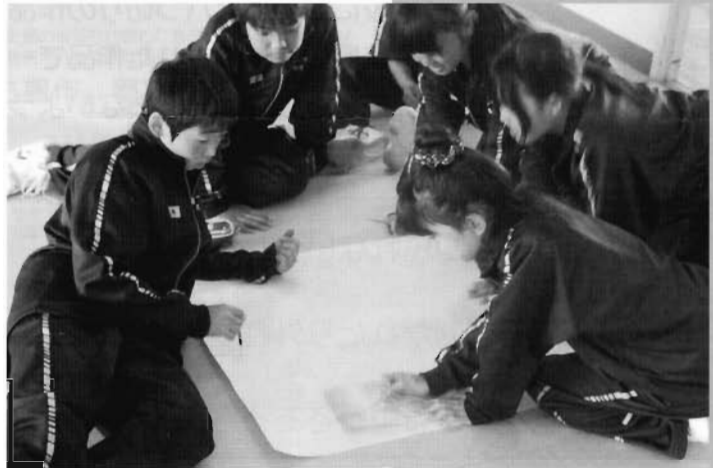
日高造形教育研究会は今年1月17日に設立した新しい研究会です。平成23年度総会は5月26日に行われ、現在は会員数10名で活動を行っています。

本研究会は北海道造形連盟との連携を図りつつ、「広い」「深い」「楽しい」活動を目指しております。そのため、会員による公開授業研究会の実施、それぞれのスキルアップを目指した実技講習会の開催、そして児童生徒の作品を通して語り合う場の設定等の定例化を図っています。8月の実技講習会では本会会長の神成浩氏による「絵画の指導法及び技法」についての講習を、秋の研究会では新ひだか町立静内第三中学校の牧野裕子教諭が公開授業を行う予定です。会員それぞれが一つ一つの活動を精力的に行っていくことで、この会が日高管内の研修活動の活性化に寄与する団体へと成長してくれることを願っています。



【主な活動内容】

- 8月 管内実技講習会
- 9月 会報発行
- 11月頃 公開授業研究会
- 12月 会報発行
- 1月頃 児童生徒の作品を語る会
- 3月 会報発行



石狩造形教育連盟の活動紹介

江別市立江別第二中学校 井上 哲義

石狩造形教育連盟の研究テーマは、子どもの「見る」ところが、「つくる」ところを変える。～創造行為としての鑑賞活動による学びの深まり～としました。一つ目として、「見ること」と「つくること」の相互作用の中で、子どもの思いを引き出す視点と工夫を心がけ進めている

こと。二つ目として、表現や鑑賞の中で、子どもの思いが膨らむ「造形的な学び」の充実を目指し進めています。教師側の受け止める（教師の見る）を大切に進めてきました。これは、鑑賞活動での子どもの「見る」ところからの思いの深まりを、どう受け止めていけば良いのかに焦点を当て、共同研究を行っています。2010年には、江別市立江別第二中学校で「旅するムサビプロジェクト in 北海道」が実施され大きな成果をあげました。また、管内教育美術展でのギャラリートークや「石狩の作品集」にみられるような、子どもがどのような思いを持って制作にあたったのか、子どものつぶやきと、それを見取る教師のまなざしに視点をあてた取り組みは、全国各地から、高い評価をいただいている所です。同連盟では、ともに学び合う共同研究の意義をふまえ、会員の研究に対する理解と協力体制を深め、更に、全国に向けて発信していきたいと思っています。



- 2010年 旅するムサビプロジェクト in 北海道（江別第二中学校於）
- 2010年 これからの図工・美術の在り方 三澤教授による理論研
- 2011年 上野行一先生の実技理論研を予定
- 2011年 石狩管内教育美術展予定（北広島花ホール）
- 2011年 石狩の作品集第16号作成予定

第38回北海道教育美術展

作品募集のお知らせ

応募の対象

☆道内の保育園、幼稚園、小学校、中学校に在籍する園児、児童、生徒

応募の規定

☆絵画や版画、デザイン画などの作品で学校（園）を窓口として応募する。

☆大きさは四つ切りとする。それ以下の作品は四つ切りの台紙に貼る。ただし中学校については八つ切りの作品でも受け付ける。

☆今年度内に作成された作品で一人1作品の出品とし、作品裏面に応募票を貼る。
(応募票は剥がれ落ちないようにしっかりと固定してください。)

～作品規定～

- 積み重ねてもつぶれない、かさばらないこと
- 接着が頑丈で剥がれたり外れたりしないこと
- 画鋲展示ができる重量であること

問い合わせ 札幌市立中央小学校 八田博之
TEL: 011-261-6568 FAX: 011-261-5723

◇審査研修会と一緒に参加しませんか？◇

12月27日（火）、28日（水）の二日間、札幌市立幌西小学校で審査会が行われます。例年、札幌市内の先生方はもとより、各地区サークルからもたくさんの先生方が審査会に参加されています。全道から集まった2万点近くの作品を見ることを通じて実践について研修しあう絶好の機会です。

締切・送付先

☆平成23年12月15日→締め切りを過ぎたものは受付できませんのでご注意ください。

☆〒064-0810 札幌市中央区南10条西17丁目1-1
札幌市立幌西小学校 教育美術展係 宛

北海道教育美術展

会期：平成24年1月7日（土）～10日（火）

会場：道新ぎやらりー（札幌市中央区大通西3丁目）

- 主催：北海道造形教育連盟・北海道新聞社
- 後援：北海道教育委員会
- 協賛：サクラクレパス・さっぽろ東急百貨店



あ と が き

132号では地区サークル情報として日高造形教育研究会の北先生と石狩造形教育連盟の井上先生に執筆をお願いしました。地区運営にお忙しい中、ご協力いただきましてありがとうございました。全国図画工作・美術教育研究大会 in 北海道がいよいよ迫ってきました。これまで、北海道の先生方で積みあげてきた研究の成果をチーム北海道から発信していきましょう！全道の仲間とお会いできることを楽しみにしております。

<北海道造形教育連盟 広報部> 松本和彦・大高雅子・櫻田 悟・橋本祥子